

第3号様式（第8条関係）

NPO活動等支援補助事業相互評価書

事業名	IBUSUKI SUMMER BREEZE 2017		
団体名	IBUSUKI SUMMER BREEZE	実施年度	平成29年度

【活動団体等記入欄】

評価項目		主な内容	◎：特に優れる ○：良好である △：課題有り ×：改善を要する －：非該当	所見
公益性	市民参加協力	事業実施を通じて市民の理解や参加、協力が得られたか。	○	来場者1700名以上 ボランティア100名
	市民説明	事業の紹介を積極的に言い、市民に開かれた事業であったか。	○	テレビ告知（KKB、KYT、MBC） ラジオ告知（FM鹿児島）
必要性	事業の成果	事業の目標・目的どおりの成果が得られたか。	◎	多くの市民の方々に、アーティストライブでは感動した。Xスポーツは楽しくて、またしてみたいとの感想をいただいたので目的達成といえる。
	先進性波及性	新たな成果や仕組みを生み出すなど、波及的な効果が得られたか。	◎	入り口付近に流木でアーチを作成し来場者にSNSでの周知を促したところ、集客や広報に効果があった。
	発展性	事業実施後、団体の発展や事業自体の発展が見込まれるか。	○	次回はメインアーティストを昼夜と2組にし、より多くの市民の集客を望む計画。
有効性	予算経費の妥当性	補助金は収支予算に沿って適切に執行されたか。	△	一年ごとに事業のレベルが上がっていているため、より多くの協賛や補助が必要。
	実施体制	事業を確実に実行するための適切な実施体制ができていたか。	○	青年会議所メンバー、南薩のサーファーやスケーターだけではなく、市役所職員の皆様などのボランティアなどをいただけたら、準備当日ともに円滑に進むと思います。
	協働の効果	本事業は、協働による取組が有効か。	○	指宿青年会議所、指宿サーフコミュニティ、指宿バンデミックスケート、指宿バイクステージの協力により、効果的に事業を進められた。

総評

当日は天候も良く1500名以上の市民の皆さんにご参加いただきました。また100名を超える市民の皆さんにXスポーツも体験していただきその楽しさも体感していただきました。ステージでもメインの平井大をはじめとする13組のアーティストの皆さんに夏、海を感じる音楽で、会場を盛りあげていただきました。多くの市民の皆さんに海岸での過ごし方として新たな選択肢を提供できたと感じております。当実行委員会としては8年後の護岸整備の完成時に1万人規模のフェスに成長させることを目標としているため年々規模を拡大していきたいと考えております。差し当たっての課題としましては、協賛金や補助金の確保はもちろんのこと、それと同様にマンパワーの増員も必要であると考えています。来年度以降は従来のスタッフだけでなく他団体や自治体、行政の方々にもご協力いただきたいと思います。

第14号様式(第14条関係)

事業実績書

1 事業名

I BUSUKI SUMMER BREEZE 2017

2 事業の目的

指宿の未来を担う若者達が、護岸工事後の指宿へXスポーツ体験や音楽フェスを通して、あらゆる分野で可能性や夢を抱き、魅力的な海岸と共生する新たなライフスタイルや文化が生まれるきっかけとなることを目的とします。

3 事業実績

ビーチエリアではスタンドアップパドルボード、ウエイクボード体験を行い、パークエリアではスケートボード、BMX等の体験を行った。中央広場では、飲食ブース21店舗、ワークショップ&物販エリア10店舗が出店し、サブステージエリアではDJブース、メインステージエリアでは13組のアーティストのパフォーマンスを行った。

期日：2017年7月2日

場所：休暇村指宿エコキャンプ場

総入場者数：約1700名(スタッフ込み)

Xスポーツ体験者数：約100名

無料体験者数：約70名

音楽フェス入場者数：1507名

